

三加和  
中学校  
学校だより

# 三ガキアウ

## 生きる力を 育むとは…？

先週、1年生の集団宿泊教室が行われました。わずか1泊2日でしたが、親元を離れて、集団生活をして、何かを感じてくれていると思います。今週は、小学校でも同様に5年生が菊池に行っていました。そのとき、ちよと感じた違和感が…それは、自分の荷物を親に持たせる生徒が多いということです。確かに、人によってはかなり重く感じると思いますが、持てないわけではありません。自分のことは自分でです。自立の第一歩だと思います。ある工業高校の先生が、生徒募集の説明に来られたときに言われたことが思い出されました。『学力は60%理解できる力があればいいのです。ただ、素直であること、挨拶すること、自分のことは自分ですること』。こうした基本的なことは、就職するためには絶対に必要です。

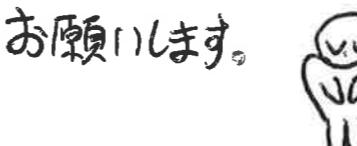
この必要なことは、学校の授業で学ぶことではありません。日常生活で毎日の習慣として、少しずつ身につけていかなければなりません。こういう私も、自分の子育てでミスをした一人なので、他の保護者には、同じ轍をふまないようにしてほしいと思っています。私には、3人の娘がいますが、一番下の娘は上とちょっと離れていたので、ついつい過保護に何でもしてやりすぎたため、『してもらってあたりまえ』という感覚を持っていますが、もう、成人しているのですが、



「こんなことで大丈夫かな？」と、今になって心配することがあります。ライオンは、子どもを谷に突きおとす、と言いますか。そこまでではなくても、(いたれりつけり)トレールを敷きつめた道を手とり足とりして歩かせるのは、ます“い”気がします。

私の知人の話ですが、知人の職場に新卒採用の子が入ってきたのですが、数か月したら職場に来られなくなってしまったのです。そしたら、その子の親が職場に来て、『次にやることがわからない』

周りが“声をかけてくれない”と言っている。どういうことか!!』と怒鳴りこんでいました。当然 新規採用の子ですが、研修も行っていたし、サポートもしながらやっていたのですが、その子にとっては、わからなくて、もじもじしてたのだから、ちゃんと自分に声をかけて、できる仕事を準備してくれないと…』と、こう思いました。まあ、ここまではないにしろ、最近の若い人に対して、保護者の方も似たようなことを自分の職場で経験されているのではないか? 三加和中の子がそうならないよう、生きにく力をつけていきたいと思っています。どうかご協力を



### 「母親の最高の知恵」

子どもが道ばたで転ぶ。  
アメリカの母親はどうするか。  
じっと見ている。  
助けに行かない。  
自分で立ち上がるのを待つ。  
独立心を植えつけるためだ。

日本の母親はとんで行く。  
助け起こす。  
「かわいそう、かわいそう」とほこりを払う。  
その瞬間は母子ともにハッピーだ。  
でも、将来を考えると暗い。

最高の知恵を持っているのは、アフリカの母親だ。  
子どもが倒れる。  
どうするか。  
すばやく、自分も同じようにバタッと倒れる。  
子どもはびっくりする。  
「あ、お母さんも倒れたッ」  
母親はひとりで立ち上がる。  
それを見て、子どもは自分で立ち上がることを学ぶ。  
これが母親の最高の知恵だろう。

(金平敬之助 作)

返信をおろしく  
お願ひします。  
学校関係以外の方も  
大丈夫です。ご意見あります  
ござります。

